

## 平成 29 年度 スチュワードシップ活動の報告（概要）

### 【平成 29 年度の活動のポイント】

■今年度は「日本版スチュワードシップ・コードの受け入れ表明」の改定に加えて、「株主議決権行使ガイドライン（国内株式）」の改定、「株主議決権行使ガイドライン（外国株式）」の制定を行った。

■都共済のガイドラインに沿って、株主議決権が適切に行使されていることを確認。

■都共済が委託する国内株式ファンドにおいて、都共済の株式議決権行使ガイドラインが各社のガイドライン等に優先適用されていることを確認。

■厚生年金保険給付組合積立金では、延べ 2,023 社に対して、7,112 議案の株主議決権を行使。うち、反対行使は 1,514 議案で反対比率は 21.3%（前年度比▲0.4 ポイント）。他方、経過的長期給付組合積立金では、延べ 2,139 社に対して、7,642 議案の株主議決権を行使し、反対行使は 1,740 議案で反対比率は 22.8%（前年度比+2.6 ポイント）。厚生年金保険給付組合積立金では、反対比率が微減となったが、経過的長期給付組合積立金においては、反対比率は上昇した。運用受託機関がガイドラインをより厳しいルールへと見直しを行ったことに加え、都共済が取り組むスチュワードシップ活動が道半ばであることを示している。引き続き、企業のコーポレートガバナンスの改善・向上に向けた地道な努力が必要。

■都共済の要請を受けて、全ての運用受託機関が議決権の行使結果を、個別の投資先企業及び議案ごとに公表。

■運用受託機関のエンゲージメント活動は着実に量的、質的レベルアップが図られている。エンゲージメント活動において、運用受託機関が投資先企業の経営者と徹底した議論を行い、経営者と力を合わせて株主価値最大化に挑戦し、成果に繋がった好事例が増えている。

### 【都共済の今後の取り組み】

■運用受託機関に対する効果的なモニタリングの実施と、モニタリング結果を踏まえたスチュワードシップ活動の一層の深化

■他の公的年金等との連携強化や共働によるスチュワードシップ活動の効率性の追求と成果の最大化

■外国株式に係るスチュワードシップ活動の一層の取り組み強化

## 【株主議決権行使状況（厚生年金保険給付組合積立金）】

対象：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月決算企業

議案内容	合計	構成比	賛成		反対		前年度の 反対比率
				比率		比率	
総計	7,112	100.0%	5,598	78.7%	1,514	21.3%	21.7%
うち株主提案に関するもの	195	2.7%	19	9.7%	176	90.3%	99.3%
内訳	7,112	100.0%	5,598	78.7%	1,514	21.3%	21.7%
取締役会・取締役に関する議案	2,239	31.5%	1,332	59.5%	907	40.5%	44.6%
監査役会・監査役に関する議案	1,260	17.7%	1,135	90.1%	125	9.9%	16.4%
役員報酬等に関する議案	859	12.1%	769	89.5%	90	10.5%	12.3%
剰余金の処分に関する議案	1,434	20.2%	1,339	93.4%	95	6.6%	4.9%
資本構造に関する議案	406	5.7%	308	75.9%	98	24.1%	15.8%
うち敵対的買収防衛策に関するもの	130	1.8%	35	26.9%	95	73.1%	27.7%
うち増減資に関するもの	5	0.1%	5	100.0%	0	0.0%	14.3%
うち第三者割当に関するもの	2	0.0%	1	50.0%	1	50.0%	0.0%
うち自己株式取得に関するもの	1	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	60.0%
事業内容の変更等に関する議案	44	0.6%	44	100.0%	0	0.0%	0.0%
役職員のインセンティブ向上に関する議案	123	1.7%	104	84.6%	19	15.4%	20.5%
その他議案	747	10.5%	567	75.9%	180	24.1%	16.1%

## 【エンゲージメントの成果（厚生年金保険給付組合積立金）の事例】

対話項目	企業	具体的な内容	
経営戦略に関する対話	東証一部 電機機器	対話	業績依存度が高い北米スマートフォン向けの電子部品事業の業績のボラティリティ緩和に向けて、子会社との協業による用途の拡大を提案。
		成果	会社側はその後に、当該子会社との経営統合を発表。協業強化、経営資源の相互活用を通じて、電子部本事業の用途拡大を目指す方針である。
コーポレートガバナンスに関する対話	東証一部 輸送用機器	対話	経営目標に掲げる北米事業の立て直しに向けて、グローバルな経営経験者の登用、社外取締役の機能強化を提案。
		成果	会社側は取締役の中にグローバルな経営経験者が不在であることを認めると共に、その後、北米事業の改革を目的に、企業再建の実績が豊富な社長兼CEOを採用。
資本政策に関する対話	東証一部 電気機器	対話	中計に掲げたROE8%の達成時期が現預金の保有過多を理由に大幅に先送りされる可能性があることを指摘。
		成果	会社側はその後に、大幅増配を発表すると共に、今後、余剰資金の必要以上の積み上げは行わない旨を表明した。
情報公開に関する対話	東証一部 機械	対話	市場の疑念を払拭するために適切な情報開示を提案。加えて海外子会社に現預金が滞留する仕組み、海外子会社の監査体制、有価証券・現預金の保有方針についても、会社側と議論。
		成果	会社側はその後に、年間配当の増配を発表。

## 【株主議決権行使状況（経過的長期給付組合積立金）】

対象：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月決算企業

議案内容	合計		賛成		反対		前年度の 反対比率
		構成比		比率		比率	
総計	7,642	100.0%	5,902	77.2%	1,740	22.8%	20.2%
うち株主提案に関するもの	252	3.3%	5	2.0%	247	98.0%	98.9%
内訳	7,642	100.0%	5,902	77.2%	1,740	22.8%	20.2%
取締役会・取締役に関する議案	2,383	31.2%	1,439	60.4%	944	39.6%	37.2%
監査役会・監査役に関する議案	1,352	17.7%	1,199	88.7%	153	11.3%	14.6%
役員報酬等に関する議案	921	12.1%	794	86.2%	127	13.8%	9.8%
剰余金の処分に関する議案	1,545	20.2%	1,455	94.2%	90	5.8%	4.6%
資本構造に関する議案	431	5.6%	293	68.0%	138	32.0%	48.4%
うち敵対的買収防衛策に関するもの	139	1.8%	2	1.4%	137	98.6%	94.5%
うち増減資に関するもの	3	0.0%	3	100.0%	0	0.0%	0.0%
うち第三者割当に関するもの	1	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0.0%
うち自己株式取得に関するもの	1	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	50.0%
事業内容の変更等に関する議案	43	0.6%	43	100.0%	0	0.0%	0.0%
役職員のインセンティブ向上に関する議案	134	1.8%	92	68.7%	42	31.3%	33.9%
その他議案	833	10.9%	587	70.5%	246	29.5%	17.4%

## 【エンゲージメントの成果（経過的長期給付組合積立金）の事例】

対話項目	企業	具体的な内容	
経営戦略に関する対話	東証一部 小売業	対話	中期経営計画発表後1年を経過したが、課題が多い点を指摘。特に営業改革の進捗、キャッシュフローの改善、その他の施策を主たる論点として経営と議論。
		成果	社長から、「業態再構築に関する実証実験を行うと共に、モデル店の水平展開に着手しており、営業改革を通じた労働生産性の改善や在庫管理を通じたキャッシュフローの改善に引き続き取り組んでいる。営業キャッシュフローは過去最高を更新しており、着実に成果を挙げている」との回答を得た。
コーポレートガバナンスに関する対話	東証一部 非鉄金属	対話	海外市場を中心に情報開示の充実を提案。積極的な情報開示が企業価値向上に繋がるとの論点で経営と議論を行った。
		成果	会社側が「IRの充実が重要な課題」との認識を表明。その後の本決算において、海外事業関連資料の充実が図られると共に、会社側から初めて業績予想前提が開示された。
社会問題に関する対話	東証一部 電機機器	対話	不正会計問題発生以降、市場は同社のガバナンスに疑念を抱いている。マネジメントはガバナンスが機能していると考えているか、更に過半を占める社外取締役は機能しているのかを主要テーマとして経営と議論。
		成果	社長より、「低迷事業の打開策であった筈の買収が裏目に出て、種々施策を打つ必要に迫られた。社外取締役からは活発な意見が出されているが、外部にうまく伝えられなかった」との回答を得た。
環境問題に関する対話	東証一部 輸送用機器	対話	産業連関の視点からサプライヤーに対する対応が企業価値向上、及び市場全体の底上げに大きく影響を与えることから、同社のCSR調達ガイドラインに基づくサプライヤーのESG対応状況のチェック方法を経営と議論。
		成果	「既にCSRガイドラインを作成し、サプライヤーチェックも開始した。サプライヤーに対して対応できている点の積極開示の働きかけも検討したい」との回答を得た。